

# 今あらためてダムを問う

「ダムの時代は終わった」と言われ久しくなります  
人口減少… 水余り… 経済成長の終焉… 巨大な国家財政赤字… Etc.  
確かに新たにダムを求める時代でないのは誰の目にも明らかなようです

時代の変化の中で揺れ動いてきた「ダム」  
今、ムダなダム事業を見直す動きが加速する一方で、  
依然としてダムに固執する動きは根強く、全国でつば競り合いが繰り広げられています

このシンポジウムでは、ダム問題を抱える全国のみなさんが交流し、  
改めて今日のダム問題とは何かを考え、  
今後の治水・利水と河川環境のあり方について議論を深めたいと思います



## 問題提起

- ・ ダム問題の今日の特徴 – “ダムの時代は終わった”を考察する–：中川 学（技術士/河川計画）
- ・ 地すべり問題に見るダム計画の袋小路：奥西一夫（京都大学名誉教授/災害地形学）
- ・ 治水論をめぐって：宇民 正（元和歌山大学教授/河川工学）

## 矛盾を深めるダム問題 – 現地からの報告 –

- ・ 浅川ダム（長野）：地すべり指定地直下にダムサイト/本体工事に契約
- ・ 天ヶ瀬ダム再開発（京都）：世界遺産（平等院一帯）の宇治川景観を破壊する改修計画
- ・ 最上小国川ダム（山形）：アユの清流に計画中
- ・ 利賀ダム（富山）：地すべり指定地に計画中
- ・ 苦田ダム（岡山）：ダム完成/ダム効果と環境の検証
- ・ 太田川ダム（静岡）：ダム完成/これに水を貯める必要はなく、貯めてはならない
- ・ 武庫川ダム（兵庫）：新規ダムに頼らない河川整備計画の樹立めざして

## 総合討論

コーディネーター 上野鉄男（元京都大学防災研究所助手/河川工学）

日時 2010年6月19日(土) 午後1時～5時  
 場所 京大会館（京都市左京吉田河原町 ☎075-751-8311）  
 主催 国土問題研究会（京都市中京区二条通り河原町西入る）  
 資料代 500円（会員無料）  
 終了後懇親会もあります  
 \* 問合せ先 国土問題研究会 Tel・FAX：075-241-1373  
 e-mail：[kokudo@ma2.seikyoku.ne.jp](mailto:kokudo@ma2.seikyoku.ne.jp)

